

■ 地域医療介護総合確保基金（医療分）の平成28年度実施事業の評価

○ 平成28年度実施42事業について

評価内容	事業数
目標達成	6
順調	20
おおむね順調	16

■ 地域医療介護総合確保基金（医療分）の平成28年度実施事業の評価

No	事業名	事業内容	平成28年度実績額 (単位：千円)	平成28年度事業実施内容	事業目標	平成28年度終了時点の実績	事務局評価
1	病床機能の分化・連携のための施設整備等	急性期から回復期への病床機能の転換等を行う医療機関に対し、転換のために必要となる施設改修等の費用を支援	58,952	【平成28年度末】 ①急性期から回復期に30床転換 ②44床減（通所リハ設備に転換等）	【平成30年度末目標】 ・急性期病床から回復期病床に転換する病床数 300～350床程度 ・病床から他施設への転換 30～40床程度	【平成28年度末】 ・急性期から回復期への転換（H29年度中完了）30床（同時に27床廃止） ・17床廃止のうえ通所リハビリテーション施設に転換	おおむね順調
2	がん診療施設設備整備	がんの診断、治療を行う病院のがん医療機器の整備に対する支援	55,509	医療機器整備を行う病院：9か所	年齢調整死亡率(75歳未満) 82.2(H26) → 73.9(H28)	年齢調整死亡率(75歳未満)実績値77.5(H28)	おおむね順調
3	在宅医療調整支援	地域の医師会等が、在宅医療を必要とする高齢者等に対して、退院調整や急変時の入院受入等の調整をするとともに、地域の医療機関等の中で連携調整を実施。	54,778	在宅医療サポートセンター設置数：8か所	在宅療養支援診療所：100施設増加	在宅療養支援診療所：166か所（2か所増）	おおむね順調
4	在宅医療推進協議会の設置	市町村が主体となって地域で在宅医療を推進するために、多職種が一堂に会して協議する場の設置を支援。	3,166	推進協議会の設置数：4ヶ所	在宅医療・介護連携推進事業を実施した市町村数：30市町村	5市町	おおむね順調
5	かかりつけ医育成研修及びかかりつけ医を持つことに対する普及・啓発	かかりつけ医の普及啓発及び定着を推進するため、地域医師会等が実施する地域医師会医師への研修及び住民に対する広報活動を支援。	959	「かかりつけ医育成研修会」を和歌山県医師会が実施	在宅療養支援診療所：100施設増加	在宅療養支援診療所：166か所（2か所増）	おおむね順調

■ 地域医療介護総合確保基金（医療分）の平成28年度実施事業の評価

No	事業名	事業内容	平成28年度実績額 (単位：千円)	平成28年度事業実施内容	事業目標	平成28年度終了時点の実績	事務局評価
6	早期退院・地域定着のための精神障害者支援体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所等に地域移行促進員を配置し、長期入院者の退院意欲の喚起に係る体制を整備 通院患者に対する登録制の電話相談等 	9,861	①地域移行促進員設置の相談支援事業所数：9事業所 ②電話相談体制整備数：1ヶ所（電話相談847件）	【平成30年度】 ①1年以上長期入院患者の割合の減少：70%以下減少（H27-72.5%） ②在院患者の平均在院日数の減少：300日に近づける（H27-321.4日） 【平成28年度】 ③相談件数800件（H27-702件）	①69.9%（平成29年6月30日現在） ②306.8（平成28年度病院報告） ③847件（平成28年度末）	順調
7	重症心身障害児者等在宅医療等連携体制整備	在宅の重症心身障害児者等が必要な医療・福祉サービスを受けられるよう、地域の法人に専任の看護師等を配置し、関係者間の連携強化や研修を行う。	65,176	①在宅支援訪問リハビリ等及び施設支援一般指導を合計年5、500回以上実施 ②有田・日高圏域にも検討会を設立し、県内全域で検討会を開催	【平成30年度末】 医療的ケア対応可能な訪問看護ステーションの割合を増加：現状40%弱→50%	医療的ケア児対応（小児対応。要相談含む。）訪問看護ステーション割合48%	おおむね順調
8	訪問薬剤管理指導を行おうとする薬局への研修や実施している薬局の周知	これまで訪問薬剤管理指導に取り組んだ経験のない薬局に対して、地域薬剤師会が行う研修の実施を支援。また、患者が入院から在宅療養へ円滑に移行するために、地域薬剤師会が訪問薬剤管理指導を実施している薬局の周知・紹介を行うことを支援。	780	在宅医療を行う薬剤師の研修を和歌山地域で7回、田辺地域で1回開催した。（合計約650名参加）	在宅患者のQOLの改善	在宅患者のQOLの改善（在宅患者調剤加算届出薬局：110件）	順調

■ 地域医療介護総合確保基金（医療分）の平成28年度実施事業の評価

No	事業名	事業内容	平成28年度実績額 (単位：千円)	平成28年度事業実施内容	事業目標	平成28年度終了時点の実績	事務局評価
9	終末期医療に必要な医療用麻薬の円滑供給の支援	患者の癌性疼痛等のコントロールを円滑にするため、持続注入ポンプの使用等に関する研修を実施するとともに、地域で汎用されている医療用麻薬について、地域の関係者間で品目・規格の統一等に関する協議の実施を支援。	490	購入した麻薬持続注射用ポンプ等の操作方法や注射剤の調製に関する無菌調剤講習会を和歌山、那賀、伊都、有田、日高、田辺及び新宮地域で開催した。また、麻薬譲渡制度に関する研修会を開催した。（研修会8回）	在宅患者のQOLの改善	在宅患者のQOLの改善 （保険薬局の無菌調剤処理加算届出薬局：8件）	順調
10	在宅歯科医療推進（普及啓発事業）	介護専門職種に対して口腔ケア等の歯科知識の普及啓発を実施。	200	受講者数：14名	口腔ケアの知識をもつ医療職等がいる施設数：平成27年度5施設→平成28年度15施設	口腔ケアの知識をもつ医療職等がいる施設数：平成27年度5施設→平成28年度17施設	目標達成
11	在宅介護者への歯科口腔保健推進	在宅介護者への歯科口腔保健知識・技術の指導、在宅療養者への口腔ケアの指導を行うために必要な医療機器整備を支援	227	口腔ケアや指導に必要な医療機器を整備する歯科診療所：1か所	居宅療養管理指導（歯科医師による、歯科衛生士による）1,037件（平成26年9月）→1,047件（H28）	- （評価の基礎数値である医療施設調査について、平成29年度調査は現時点で未公表）	おおむね順調
12	病診連携推進	病診連携を通じた病床機能の連携を進めるために、在宅医療をバックアップする病院及びその病院と連携し在宅医療を実施する診療所に対して医療機器の整備を支援	5,677	① 新たに在宅療養支援診療所となった施設：3施設 ②地域密着型協力病院の指定を受けた施設：9病院	・回復期病床2,144床増の3,315床確保（2025年）	回復期病床 1,999床	おおむね順調
13	退院支援看護師配置支援	入院患者の退院支援を行うため看護師の配置に係る支援（養成のための研修）	600	研修受講者40名（実人数）	退院支援に取り組む病院数（H27）0病院 →（H30）40病院	9病院	順調

■ 地域医療介護総合確保基金（医療分）の平成28年度実施事業の評価

No	事業名	事業内容	平成28年度実績額 (単位：千円)	平成28年度事業実施内容	事業目標	平成28年度終了時点の実績	事務局評価
14	小児救急を守るための研修	小児科医による小児救急医療体制を補うため、内科の医師を対象に、小児特有の救急医療に関する研修冊子を作成のうえ研修を実施。また、不要不急の小児救急受診を減らし現在の小児救急医療体制を堅持するため、保護者に対し小児救急に関する研修を実施。	2,932	【平成28年度】 保護者や保育関係者向けの講習会を県の北部・南部で2回開催（55名参加） 保護者向け冊子「子どもの救急対応マニュアル」（15,000部）を作成。	不要不急の小児救急患者を抑制と小児科医の負担軽減	・小児初期救急患者数の減少 H26（26,182人）→H28（22,783人）	順調
15	女性医師支援	病院勤務の女性医師の離職防止や復職を支援するため、相談制度の導入や復職のための臨床研修等を実施するとともに、女性医師の実態調査や勤務環境改善の啓発を実施。また、出産・子育て中の女性医師支援のための仕組みを創設。	1,132	県内6施設7名の医師を女性医師メンター（助言者）として配置し、出産・育児やキャリア形成等についての相談業務を実施した。また、県内4病院において女性医師復職研修プログラムを作成した。	二次医療圏別人口あたり医師数の増加	二次医療圏別人口あたり医師数 和歌山 ②6377.7→②8397.9 那賀 ②6153.5→②8163.0 橋本 ②6201.5→②8207.6 有田 ②6164.6→②8168.0 御坊 ②6238.0→②8243.7 田辺 ②6233.6→②8237.1 新宮 ②6211.0→②8214.7	順調
16	女性薬剤師等の復職支援	病院・薬局等での勤務経験がある薬剤師（特に女性）の復職支援を促進するため、地域薬剤師会において、地域の病院・薬局等と連携した復職支援プログラムの実施を支援。	283	就業支援プログラムによる実務実習を受講した人数：22人	薬局・医療施設に従事する人口10万人あたりの薬剤師数増加	薬局・医療施設に従事する人口10万人あたりの薬剤師数：181.9人 (参照：H24.12.31時点156.7人)	順調
17	未就業薬剤師に対する研修	求職希望薬剤師や未就業薬剤師の登録業務を行うとともに、未就業薬剤師が即、地域医療に貢献できるよう研修等を実施。	260	・研修会2回、参加者22名	薬局・医療施設に従事する人口10万人あたりの薬剤師数増加	薬局・医療施設に従事する人口10万人あたりの薬剤師数：181.9人 (参照：H24.12.31時点156.7人)	順調

■ 地域医療介護総合確保基金（医療分）の平成28年度実施事業の評価

No	事業名	事業内容	平成28年度実績額 (単位：千円)	平成28年度事業実施内容	事業目標	平成28年度終了時点の実績	事務局評価
18	医療施設に勤務する看護職員への高度シミュレーション研修	県内看護職員の看護実践力及び資質の向上、安全・安心な看護の提供に資するため、県内中小医療施設で就業する看護職員に対する高度シミュレーション研修の実施を支援。	796	研修受講人数 72人 緊急時看護ケア技術取得人数 72人	看護職員の専門性の向上	看護職員の資質向上	目標達成
19	潜在看護職員復職支援研修の拡充	復職を推進するための潜在看護職員復職研修の研修内容や実務研修エリア・病院数を拡大。また、病院だけでなく、訪問看護ステーションでの実務研修を実施。	4,237	研修受講人数 16人 復職就業人数 10人	潜在看護職員数の年間再就業数：20人	潜在看護職員数の年間再就業数：10人	おおむね順調
20	看護師等養成所設備整備	看護教育の充実のため、看護師等養成所に対し演習用の機器整備を支援。	15,470	・県内看護師等養成所9施設のうち8施設に対して、在宅看護の演習に必要な機器の購入費用を補助（県立養成所については購入） ・卒業者数 458名	看護職員の年間養成数：450人	看護職員の年間養成数：450人	目標達成
21	看護職員の復職支援強化・就業促進	ナースセンターのサテライトを県内2か所（紀北・紀南）に創設し、復職支援を強化。求人求職の登録、相談、就職斡旋等の業務を行うとともに、免許届出制度の努力義務化に伴う一斉の登録業務・問い合わせにも対応。	3,672	ナースセンターサテライトを和歌山市内（47回）・紀北地域（43回）・紀南地域（46回）に創設し、就労相談及び復職支援（計101人）を行い、うち37人が再就業した。	潜在職員の年間再就業数：20人	潜在職員の年間再就業数：37人	目標達成

■ 地域医療介護総合確保基金（医療分）の平成28年度実施事業の評価

No	事業名	事業内容	平成28年度実績額 (単位：千円)	平成28年度事業実施内容	事業目標	平成28年度終了時点の実績	事務局評価
22	看護職員の確保及び資質向上を図るための研修	県立医科大学附属病院が、地域の看護職の資質向上のため、所属の認定看護師を活用し、自施設で実施している看護職員研修プログラムの一部を公開。他施設の看護職員を受入。	114	認定看護師を活用した研修を実施 研修を受講した他施設の看護職員数 延べ195人	看護職員の資質向上	看護職員の資質向上	目標達成
23	地域医療支援センター運営	県立医科大学へ地域医療支援センターの運営を委託し、若手医師の地域でのキャリア形成等を支援。	44,770	H28地域医療枠等卒業医師数 H28 288人	県立医科大学県民医療枠・地域医療枠等卒業医師の地域医療従事者数 5人 (H28) → 160人 (H38)	H28県立医科大学県民医療枠・地域医療枠等卒業医師の地域医療従事者数 5人 観察できた 指標：0人(H27)から5人(H28)	順調
24	産科医等確保支援	分娩を取り扱う病院・診療所・助産所に対し、産科医・助産師等の処遇改善を図るため、分娩取扱手当等を支援。	17,024	医師支援実施施設への補助数 19箇所	・県内公的病院産科医師数7名の増 (平成28年4月現在54名)	分娩取扱医療機関数：31カ所 (H29.4.1)	おおむね順調
25	新生児医療担当医確保支援	NICU設置病院に対し、新生児医療担当医の処遇改善を図るため、手当等を支援。	883	NICU設置病院への支援数：2病院	・NICU設置病院の維持3病院 (H27) → 3病院 (H28)	NICU設置病院：3病院 (H29)	順調
26	女性医師等就労支援	医療機関における仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境整備の取組を行う医療機関を支援。	18,707	研修・研究資金の貸与者0名 (H28) ※H29.4申請者2名	・県内公的病院産科医師数7名の増 (平成28年4月現在54名)	・県内公的病院産科医師数57名 (H29.4)	おおむね順調

■ 地域医療介護総合確保基金（医療分）の平成28年度実施事業の評価

No	事業名	事業内容	平成28年度実績額 (単位：千円)	平成28年度事業実施内容	事業目標	平成28年度終了時点の実績	事務局評価
27	看護職員養成強化対策	看護教育の充実及び運営の適正化を図るため、民間立の看護師等養成所に対する支援。	44,083	・補助を行う看護師等養成所数 3施設 ・補助を行う看護師等養成所の生徒数 352人 ・補助を行う看護師等養成所の卒業生数 104人	・従事者届による看護職員の実人数の増 (H26) 13,820人 → (H30) 14,744人	従事者届による看護職員の実人数が13,820人 (H26) から14,337人 (H28) に増えた	順調
28	新人看護職員研修 (ナースセンター事業)	国の定めるガイドラインに基づいた内容で新人看護職員研修を実施。	538	・研修受講人数：42人 (実人数)	・従事者届による看護職員の実人数の増 (H26) 13,820人 → (H30) 14,744人	従事者届による看護職員の実人数が13,820人 (H26) から14,337人 (H28) に増えた	順調
29	新人看護職員研修（看護職員充足対策事業）	病院等において、新人看護職員に対し、国の定めるガイドラインに沿った研修の実施を支援。	13,423	・研修を実施した医療機関：26カ所 ・研修を受けた新人看護職員数：355人	・従事者届による看護職員の実人数の増 (H26) 13,820人 → (H30) 14,744人	従事者届による看護職員の実人数が13,820人 (H26) から14,337人 (H28) に増えた	順調
30	看護教育・研修	看護職員研修、実習指導者講習会、潜在看護職復職支援研修を実施。	1,742	・看護教員研修 受講者123名（延べ人数） ・実習指導者講習会 受講者33名（実人数）	・従事者届による看護職員の実人数の増 (H26) 13,820人 → (H30) 14,744人	従事者届による看護職員の実人数が13,820人 (H26) から14,337人 (H28) に増えた	順調
31	子ども救急相談ダイヤル (#8000)	小児科医等による夜間の小児救急患者向け電話相談体制を整備することにより、保護者の不安を緩和し、患者の症状に応じた適切な医療を提供するシステムを構築。	7,906	・年間相談件数 6811件	・2次救急医療機関における救急患者数（入院を除く患者数）の減少 15,845人 (H26) ⇒ 15,845人以下 (H28)	2次救急医療機関における救急患者数（入院を除く患者数）の減少 14,949人 (H27) ⇒ 14,580人 (H28)	順調

■ 地域医療介護総合確保基金（医療分）の平成28年度実施事業の評価

No	事業名	事業内容	平成28年度実績額 (単位：千円)	平成28年度事業実施内容	事業目標	平成28年度終了時点の実績	事務局評価
32	あんしん子育て救急整備運営	二次保健医療圏単位で、小児科専門医により、休日又は夜間等の小児救急患者を受け入れる病院に対して、運営費を助成。	23,183	・那賀・橋本・御坊・田辺の4病院に対し、休日・夜間の小児科専門医による診療体制を整えるために必要な運営費の補助を実施	・小児2次救急医療体制を整備している保健医療圏の維持 4医療圏（H27）⇒4医療圏（H28）	小児2次救急医療体制を整備している保健医療圏の維持： 4医療圏（H27）⇒ 4医療圏（H28） 指標に定めている4医療圏を維持することができた	目標達成
33	病院内保育所運営 (病院内保育所設置促進事業)	医療機関に勤務する職員の乳幼児保育事業に対し、病院内保育所運営費の一部（人件費）について補助。	43,500	・補助を行う医療機関数 13ヶ所 ・補助を行う医療機関の保育児童数 175名	・従事者届による看護職員の実人数の増 (H26) 13,820人 → (H30) 14,744人	従事者届による看護職員の実人数が13,820人（H26）から14,337人（H28）に増えた	順調
34	医療勤務環境改善推進事業	医療機関内での勤務環境整備を促進し、医療スタッフの定着を図るため、専門家を配置し、個々の医療機関のニーズに応じた支援を実施するため、医療勤務環境改善センターを設置。	3,891	・専門家派遣回数：0回 ・研修会開催回数：1回	・急性期（0.601人/床、H27病床機能報告）と回復期（0.559人/床、H27病床機能報告）の病床1床あたり看護職員数の維持	H27病床1床あたり看護職員数の維持 急性期 0.601人（H27） → 0.616人（H28） 回復期 0.559人（H27） → 0.584人（H28） 僅かながら看護職員数が増加した。	おおむね順調
35	看護職員届出制度の義務化に伴う登録システムの運用	看護師等免許保有者の届出制度を周知し、和歌山県看護協会、ハローワーク等と連動したナースセンターシステムを利用して登録者への情報提供を行う。	2,565	免許保有者の登録数 217人	・看護師免許保有者の登録数：550人（H29）	・看護師免許保有者の登録数（累計）：348人（H28）	おおむね順調

■ 地域医療介護総合確保基金（医療分）の平成28年度実施事業の評価

No	事業名	事業内容	平成28年度実績額 (単位：千円)	平成28年度事業実施内容	事業目標	平成28年度終了時点の実績	事務局評価
36	緊急時医師派遣・若手医師支援	平成28年度から県内のへき地等で勤務する和歌山県立医科大学の地域医療卒業者の若手医師の指導医不足を解消し、また医師不足を解消するために医師を派遣	32,000	H28年度 4医療機関に指導医を追加配置 (配置医療機関) 有田市立病院、橋本市民病院、国保すさみ病院、高野山総合診療所	・指導医配置等により地域でキャリア形成が可能になった若手医師数 5人(H28) → 80人(H32)	指導医配置等により地域でキャリア形成が可能になった若手医師数 5人 観察できた 指標 0人(H27)から5人(H28)	順調
37	遠隔医療推進事業	遠隔医療を推進するための「遠隔医療運用ルール」を検討する委員会を運営。	1,438	・検討委員会の参加医療機関数 17医療機関	・3次救急医療機関へ軽症患者の救急搬送割合(▲1割減) 74.5%(H26) → 64.5%(H30)	・3次救急医療機関へ軽症患者の救急搬送割合(▲1割減) 74.5%(H26) → 64.5%(H30) 観察できず ※今後公表される統計データを元に達成値を評価	順調
38	産科医師確保対策	県内公的病院の産科医療に新たに貢献する医師への研究資金等を貸与。	3,020	医師支援実施施設への補助数 19箇所	・県内公的病院産科医師数7名の増 (平成28年4月現在54名)	・県内公的病院産科医師数57名(H29.4)	おおむね順調
39	看護職員機能強化(1ターン・Uターン促進)	県外の看護学生、看護職員を対象に、1ターン・Uターン推進を図るための情報を発信。	408	・求人情報を収集する県内医療機関数 68施設 ・県外の看護学生等へのダイレクトメール数 308人	・従事者届による看護職員の実人数の増 (H26) 13,820人 → (H30) 14,744人	看護職員の実人数の増 観察できた → 従事者届による看護職員の実人数が13,820人(H26)から14,337人(H28)に増えた	順調
40	歯科衛生士の復職支援	潜在歯科衛生士に対する復職支援及び在宅歯科診療の研修の実施	1,088	受講者数 16名	・就業歯科衛生士数の増 885人(平成26年) → 989人(平成32年)	(受講者の復職状況を来年度中に調査予定)	おおむね順調
41	医師臨床研修マッチング対策	医学生に対し、医師臨床研修のPR(合同説明会の開催・出展、WEBサイトへの記事掲載等)を行う。	3,132	マッチング率 77.9%	・医師臨床研修医数(採用者数平均値)の維持 90名(H26~H28) → 90名(H29)	平成29年度医師臨床研修医採用者数：85名	おおむね順調

■ 地域医療介護総合確保基金（医療分）の平成28年度実施事業の評価

No	事業名	事業内容	平成28年度 実績額 (単位：千円)	平成28年度 事業実施内容	事業目標	平成28年度 終了時点の実績	事務局 評価
42	産科医師当直 応援事業	「和歌山県立医科大学附属病院」への開業医等による当直応援経費の支援。	3,520	・医大へ当直応援を行う開業医 4名/月	・当直開業医の応援日数（医大産科医の年間当直回数の減少） 45日（H27）⇒48日（H28）	当直開業医の応援日数（医大産科医の年間当直回数の減少） 45日（H27）⇒44日（H28）	順調
		合計額	552,092			目標達成	6
						順調	20
						おおむね順調	16